



林修先生がJAグループのサポーターに就任しました



林修のよく分かる



JJA



第1回
でしょ!



林修 × JA 全中会長・中家徹

2018年4月から林修先生がJAグループのサポーターに就任しました。JA全中の中家徹会長と、協同組合であるJAの価値やこれからの日本の食について語り合います。

JAグループは日本の「食」と「農」と「暮らし」を守ります。

中家

中家徹(なかやととおる)1949年生まれ。和歌山県田辺市で、ミカンや梅を栽培する果樹農家。2017年8月、JAグループを代表する組織・JA全中の会長に就任。農業やJAに対する理解を広げるために、マスメディア等を通じた情報発信に力を入れている。

食料自給率
38%



農業は最も未来のある産業。
全力でJAグループを応援します!

林

林修(はやしおさむ)1965年生まれ。愛知県出身。東京大学法学部卒業。東進ハイスクール現代文講師で、抜群の東大合格実績を誇る。テレビCMのセリフ「いつやるか?今でしょ!」が大流行。分かりやすい解説に定評があり、テレビ番組のMCやコメンテーターとして活躍中。



01 新社会人の皆さんへ

中家 4月は多くの組織会社で新社会人として働き始めた方がたくさんいます。メッセージをいただけないでしょうか。
林 社会人になるということは、人生で最も大きな節目、区切りです。働いてお金をもらうことは、誰かに責任を持つこと。それぞれの組織・会社の中で、自分に求められる仕事、期待されることは何か。その期待にどのように応えて、さらに超えていけるか考えて、「一日一日を大切に」してほしいですね。

02 「助け合う組織」 「協同組合」

林 JAは、農業分野にとどまらず、信用、共済、高齢者福祉や農村医療など、幅広く事業を展開しています。
中家 地域の農業を発展させながら、組合員と地域住民のくらしを守り、「安全安心」な「食」と、より良い環境を次代につなげていくことが重要な使命です。2016年には「協同組合の思想と実践」がユネスコの無形文化遺産に登録されるなど、世界的にも評価が高まっているんですよ。
林 協同組合とは、どのような組織ですか?
中家 協同組合は産業革命の時代にヨーロッパで生まれましたが、日本でも同時期に「宮澤徳(宮次郎)が農民扶助の組織を作りました。その後、賀川豊彦によって共済事業が始まり、日本の協同組合の発展につながっています。ただ、多くの方は、株主に多くの配当を行うことを最大の目的とする株式会社と、組合員の生産と生活の向上を目的とする協同組合の違いを知らないと思います。
林 協同組合の皆さんは、もっと情報を発信した方がいいかもしれませんね。
中家 4月に国内の幅広い協同組合が集まり、新たな組織を発足させました(日本協同組合連携機構 JICA)。各地域での連携・協力活動をさらに進め、より良い社会を目指すもので、他協同組合と一緒に情報発信も積極的に進めます。



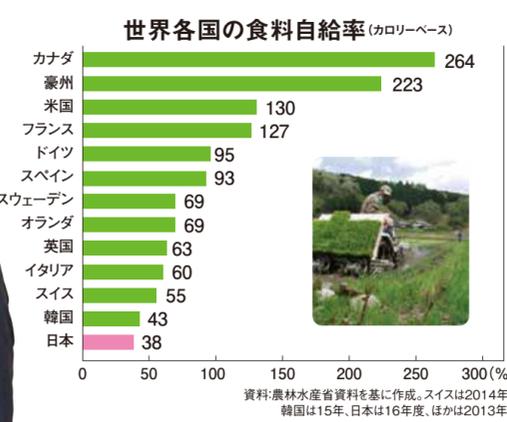
無形文化遺産登録の証書

03 JAの自己改革って?

林 今、JAグループでは「自己改革」に取り組んでいるそうですね。
中家 JAグループは「自主・自立」の組織です。「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」という目標に向かって、自ら挑戦しています。方法はJAごとに違いますが、最終的には「組合員・地域住民から「JAはやっぱり必要な組織だ」という評価を得られるように取り組んでいます。

04 日本の「食」と「農」を守るために

林 講演で全国各地を訪れましたが、地域経済は人口減少や農業の担い手の高齢化などで厳しさが増えています。一方で、斬新なアイデアでさまざまな取り組みに挑戦して、盛り上がる地域もあります。農業は最も未来の可能性がある産業。JAグループの皆さんにも大いに期待したいですね。
中家 食通と聞いていますが、好きな食べものは何ですか?
林 私の好物はトマト。いくらでも食べられます。忙しい時でも、おいしいものを食べると活力が湧いてきます。国産の農畜産物全般に言えることですが、非常に品質が高く、世界中で高く評価されるはずですよ。
中家 しかし、日本の食料自給率はカロリーベースで38%にまで低下しています。一方、スイスでは2017年に食料安全保障を憲法に明記するかどうかを問う国民投票が行われ、可決されました。お金を出せば食料を輸入できる情勢が、いつまでも続くわけではありません。日本もこれからの「食」と「農」について真剣に考える必要があります。
林 食には、「安全安心」と「安価」の2種類の「安」があります。「安価」を選択することには、どれほど大きなリスクが潜んでいるのか、消費者にもっと考えてもらいたいですね。まずは毎日の食卓に国産食材をできるだけ多く取り入れることが、食糧供給を安定させ、日本の「食」を守る第1歩になることを、ぜひJAに発信していただきたいですね。



新社会人の皆さんへ
応援メッセージは
こちら

